



平成25年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場会社名 (株)東京一番フーズ 上場取引所 東
コード番号 3067 URL <http://www.tokyo-ichiban-foods.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂本大地
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 井野一三美 (TEL) 03-5363-2132
四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第1四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第1四半期	1,227	4.8	291	18.7	296	19.1	213	5.4
24年9月期第1四半期	1,170	△1.4	245	21.7	248	21.0	202	45.2

(注) 包括利益 25年9月期第1四半期 213百万円(5.4%) 24年9月期第1四半期 202百万円(45.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第1四半期	2,497.14	2,477.00
24年9月期第1四半期	2,404.91	2,361.94

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第1四半期	1,956	1,326	66.6
24年9月期	1,521	1,113	71.6

(参考) 自己資本 25年9月期第1四半期 1,302百万円 24年9月期 1,089百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年9月期	—				
25年9月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,389	3.3	532	3.3	539	3.2	306	△10.9	3,580.41
通期	3,350	3.3	175	7.0	190	2.6	108	△36.5	1,263.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年9月期1Q	86,375株	24年9月期	86,340株
② 期末自己株式数	25年9月期1Q	875株	24年9月期	875株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年9月期1Q	85,499株	24年9月期1Q	84,253株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、12月の政権交代により、デフレ脱却を強く志向するなか、株式市場も活況の様相を呈してまいりました。一方、個人消費においては、消費マインドの低迷を背景に弱い動きが続いていることから、経済活動の先行は一部に景気回復の期待はあるものの依然不透明なものとなっております。

外食産業においても、「節約志向」からくる、「中食・内食志向」、「低価格志向」は依然根強く、加えて「食の安全・安心志向」などニーズの多様化は、企業・業態間競争をますます激しいものにしており、経営環境は依然厳しい状況が続いております。

こうした状況のなか、当社グループは、ふぐ調理師を多数保有する専門家の集団として同業他社と一線を画した経営を行い、従業員教育を徹底し、商品力、サービス提供力、店舗力の強化により、お客様満足度の向上に努めております。

また、「泳ぎとらふぐ料理専門店 とらふぐ亭」に続く業態として、当社グループの強みである産地からの直接仕入を活かした「おいしい寿司と活魚料理 魚の飯」、驚きの価格とボリュームでふぐ料理を満喫できる「ふぐよし総本店」も、計画通りに推移しております。特に、魚の飯業態では、日替わりで入荷する旬の食材を活かした「おすすめメニュー」に工夫を凝らすなど、内容の充実を図ったことにより、お客様からの支持も着実に増加してきております。また、「美味しい刺身と串かつ 串の助」は冬期にはとらふぐ亭業態に戻し、季節により業態変換を繰り返す（二毛作店舗）新たな試みも始めております。

さらに、当社グループの（株）長崎ファームにおいては、東京都の「ふぐ調理規制緩和」による除毒ふぐの販売が可能となったことを機に、安定したふぐ加工品の供給基地として、本社（東京）に加工センターを増設いたしました。これにより、養殖・水産加工・物流部門が構築され、生産から販売まで一貫した体制が整いました。当社グループは規制緩和を追い風ととらえ、外販事業の拡大に努めてまいります。また、とらふぐ・クロマグロ等の海面養殖事業は、引き続き注力してまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における業績については、売上高12億27百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益2億91百万円（前年同期比18.7%増）、経常利益2億96百万円（前年同期比19.1%増）、四半期純利益2億13百万円（前年同期比5.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第1四半期末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて4億13百万円増加し、11億81百万円となりました。これは主に、現金及び預金が2億47百万円増加したこと及び売掛金が1億31百万円増加したことによるものです。

(固定資産)

当第1四半期末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて21百万円増加し、7億75百万円となりました。これは主に、建物及び構築物を20百万円計上したことによるものです。

(流動負債)

当第1四半期末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて2億31百万円増加し、5億60百万円となりました。これは主に、買掛金が1億4百万円増加したこと及び未払法人税が68百万円増加したことによるものです。

(固定負債)

当第1四半期末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて9百万円減少し、70百万円となりました。これは主に、長期借入金が4百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期末の純資産は、前連結会計年度末に比べて2億13百万円増加し、13億26百万円となりました。これは主に、四半期純利益2億13百万円を計上したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年9月期の連結業績予想につきましては、平成24年11月12日発表の「平成24年9月期 決算短信」に記載しております業績予想から変更はありません。

なお、当社グループにおいては通常の営業の形態として、第1四半期及び第2四半期におけるふぐの需要が大きいため、第1四半期及び第2四半期と第3四半期及び第4四半期の業績に著しい季節的変動があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	573,620	821,588
売掛金	37,945	169,790
仕掛品	81,483	93,405
原材料	23,897	45,880
その他	51,201	50,539
流動資産合計	768,148	1,181,204
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,244,780	1,265,079
減価償却累計額	△1,086,036	△1,091,184
建物及び構築物（純額）	158,744	173,894
機械装置及び運搬具	16,705	16,923
減価償却累計額	△15,048	△14,927
機械装置及び運搬具（純額）	1,657	1,996
工具、器具及び備品	279,319	286,467
減価償却累計額	△257,107	△259,815
工具、器具及び備品（純額）	22,211	26,651
土地	147,365	147,365
建設仮勘定	2,812	5,016
有形固定資産合計	332,790	354,923
無形固定資産		
ソフトウェア	2,078	1,908
無形固定資産合計	2,078	1,908
投資その他の資産		
敷金及び保証金	367,234	367,099
破産更生債権等	21,478	21,478
その他	51,697	51,849
貸倒引当金	△21,478	△21,478
投資その他の資産合計	418,932	418,949
固定資産合計	753,800	775,781
資産合計	1,521,949	1,956,986

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	59,855	164,492
短期借入金	17,500	10,000
1年内返済予定の長期借入金	18,564	18,564
未払金	122,533	185,571
未払法人税等	18,085	86,652
賞与引当金	10,136	—
その他	81,875	94,724
流動負債合計	328,551	560,004
固定負債		
長期借入金	31,599	26,958
負ののれん	4,290	3,003
その他	44,344	40,712
固定負債合計	80,234	70,674
負債合計	408,786	630,678
純資産の部		
株主資本		
資本金	472,190	472,295
資本剰余金	374,190	374,295
利益剰余金	272,988	486,491
自己株式	△30,339	△30,339
株主資本合計	1,089,029	1,302,742
新株予約権	24,134	23,564
純資産合計	1,113,163	1,326,307
負債純資産合計	1,521,949	1,956,986

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	1,170,294	1,227,038
売上原価	336,174	338,649
売上総利益	834,119	888,388
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	146,636	155,527
雑給	89,889	79,867
広告宣伝費	7,073	5,800
販売促進費	2,610	3,590
減価償却費	8,547	7,382
不動産賃借料	107,677	105,595
その他	225,890	238,786
販売費及び一般管理費合計	588,325	596,550
営業利益	245,794	291,838
営業外収益		
受取利息	27	41
負ののれん償却額	1,287	1,287
協賛金収入	1,664	1,963
その他	1,038	1,587
営業外収益合計	4,017	4,878
営業外費用		
支払利息	673	298
その他	249	61
営業外費用合計	922	360
経常利益	248,889	296,356
特別利益		
新株予約権戻入益	—	569
特別利益合計	—	569
特別損失		
固定資産除却損	—	17
訴訟和解金	1,364	—
特別損失合計	1,364	17
税金等調整前四半期純利益	247,525	296,908
法人税、住民税及び事業税	44,903	83,405
法人税等合計	44,903	83,405
少数株主損益調整前四半期純利益	202,621	213,502
四半期純利益	202,621	213,502

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	202,621	213,502
四半期包括利益	202,621	213,502
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	202,621	213,502

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自平成23年10月1日 至平成23年12月31日）

当社グループにおいては、飲食事業及び水産物の販売を行っております。水産物の販売は重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自平成24年10月1日 至平成24年12月31日）

当社グループにおいては、飲食事業及び水産物の販売を行っております。水産物の販売は重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。